

2015年12月21日

世界初！ 米国皮膚がん財団認証を自動車用窓ガラス全方位で取得 「UV ベール Premium Privashield™」で認証取得

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社・本社：東京、社長：島村琢哉）は、紫外線（UV）を約99%カット※1するリアドアガラス・リアガラス「UVベール Premium Privashield™（プライベートシールド）」について、皮膚がんに関する代表的な国際組織である米国の皮膚がん財団（Skin Cancer Foundation）の認証を取得しました。すでに認証を取得しているフロントガラスおよびフロントドアガラスと併せることで、世界で初めて※2自動車の全方位で同財団認証の窓ガラスを提供することが可能となります。

米国皮膚がん財団は、皮膚がんの予防や早期発見および治療に積極的に取り組んできた唯一の国際機関です。AGCでは、皮膚がんを引き起こす一因と言われているUVを世界で初めて※3約99%※1カットするフロントドアガラス「UVベール Premium ®シリーズ」を2010年より販売し、2013年にフロントガラス「ラミセーフ®」と併せて、これらの製品において同財団から認証を取得しました。現在、運転席および助手席の紫外線対策として、国内外の約50車種※4に搭載されています。

さらに2015年11月からは、これらの製品でご好評いただいた機能を採用したリアドアガラス・リアガラス「UVベール Premium Privashield™」の販売を開始し、この度、同財団の認証を取得しました。

これにより、世界で初めて※2自動車の全方位で同財団の認証を受けた窓ガラスによる車内空間づくりを実現します。

AGCは経営方針 *AGC plus* の下、快適性向上に貢献する製品の提供を通じて、今後も世の中に「安心・安全・快適」をプラスしていきます。

< 特設WEBサイトはこちら → <http://www.agc.com/uvcut360/> >

※1 弊社測定値。ISO9050 基準。

※2 2015年12月現在、弊社調べ。

※3 2010年12月現在、弊社調べ。

※4 2015年12月現在、弊社調べ。

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子株式会社 広報・IR室 小林 純一

担当：宮川 TEL:[03-3218-5603](tel:03-3218-5603) Email:info-pr@agc.com

<ご参考>

1. 米国の皮膚がん財団（Skin Cancer Foundation）認証ラベル

米国皮膚がん財団（Skin Cancer Foundation）は、皮膚がんの予防や早期発見および治療に積極的に取り組んできた唯一の国際機関です。皮膚がん財団の認証基準を満たした製品には、以下の認証ラベルの表示が認められます。この認証ラベルは世界中の消費者から認められている太陽光からからお肌を守る製品のシンボルです。

認証製品には、自動車・住宅用ガラスおよび窓ガラス用フィルム、日焼け止め、サングラス、日よけ・傘、衣類、洗濯用製品などがあります。

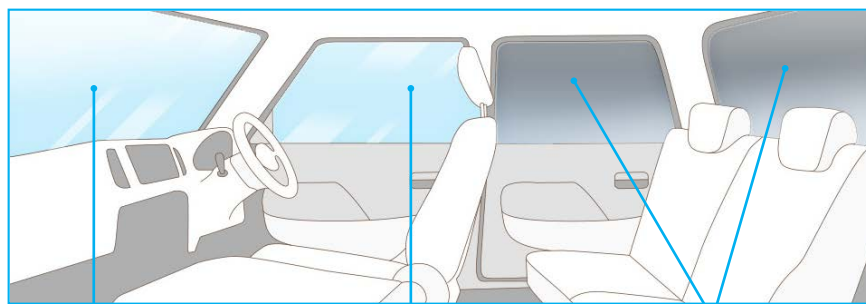


皮膚がん財団に関する詳しい情報は、以下のサイトをご参照ください。

<http://www.skincancer.org/>

2. 全周約 99%UVカットガラス

下記3種類のガラスを併せて使用することで、車に乗る全員の肌を守る全周で約 99%のUVカットが可能になります。



フロントガラス

CoolVerre®
(ラミゼーフ®)

中間膜を挟んだ合わせガラスの構造で約99%UVカット。さらに、中間膜にIR吸収剤を練り込むことにより高性能な熱線吸収機能を実現。

フロントドアガラス

UVベールPremium Coolon

従来のUVカットガラスに高性能UV&IR吸収膜をコートし、約99%UVカットと高性能な熱線吸収機能を実現。

リアドアガラス・リアガラス

UVベールPremium Privashield

従来のプライバシーガラスの成分を調整することにより、プライバシー性を保ちながらUVカット率を向上させ、約99%UVカットと高性能な熱線吸収機能を実現。